

## 学校生活を体験！ ～ オフエンバッハ ～ ～ 青少年交流団 ～



「給食はとでもおいしかったです」と話すマルタさん(右手前)は、日本食の中では特におでんが気に入りました

10月22日から31日まで、姉妹都市オフエンバッハ市から青少年交流団24人が川越を訪れました。滞在中は市内にホームステイをし、さまざまな日本の生活文化を体験。滞在2日目に訪問した城南中学校では、授業に参加したり一緒に給食を食べたりして親睦を深めました。ドイツでは、



学校給食は珍しいようで、ランチをみんなで一緒に食べるというのをとても新鮮に感じているようでした。

## 未来に向けて

川越市とセーレム市は、姉妹都市提携をし、今年で30年目を迎えました。これを記念し、10月16日、セーレム市代表団を迎え、記念式典が行われました。式典では、両市の絆を一層発展させ、さらに豊かな友好関係を築いていくことを誓う「30周年宣言」が交わされました。

代表団の皆さんは、式典の翌日に開催された川越まつりを見学。市役所前の山車揃いでは、見物客の多さに驚いていました。また、法被を着て、山車曳き体験にも挑戦。川越の伝統を肌で感じ、大変感激していました。



左からアーサー・パーマン姉妹都市委員会代表、ケーシー・ダンカン市政担当、ブロード・サンクス市議会議長、川合善明市長、吉田光雄市議会議長、清水俊男姉妹都市交流委員会代表



行って 会って 体験  
気になるイベントや人を紹介

## 小江戸あるき

ひとまち



心をひとつに「1・2・・・」

### オリンピックアンソングプロジェクト

10月20日、霞ヶ関西中学校の2年生を対象に「オリンピックピック教室」が開催されました。オリンピック出場経験アスリート(オリンピック2人)を招き、オリンピック自身のさまざまな経験を通して「オリンピックの価値や精神」を伝えることを目的として(公財)日本オリンピック委員会が企画。

授業は運動と座学が行われ、運動の授業では、縄跳びやソフтбоールを使い、「自分たちで考え行動すること」や「あきらめない心」を学びました。クラス全員でチャレ



長岡千里さん

ンジした長縄跳びでは大きな声を出し、ひとつにまとまりました。

参加した柳寧音さんは「スポーツの楽しさを実感しました。貴重な体験ができてよかったです」とすがすがしい表情。

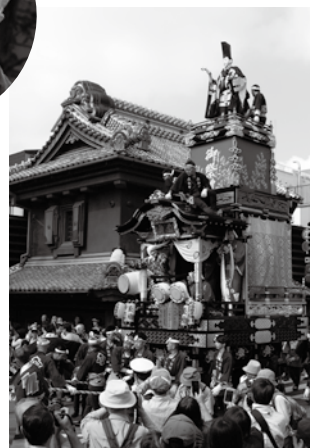
座学では、「ベストを尽くす」「友情や相手を理解する」「相手や仲間を尊重する」といったオリンピック精神(オリンピズム)を学びました。

先生を務めたトリノオリンピッククボスレー日本代表・長岡千里さんは「オリンピックは特別なものではなく、その精神はみんなの身近なところにあることを伝えたかった。自分もそうだったように、誰でも無限の可能性を持っていることを今日の授業で気づいてくれたらうれしいです」と話してくれました。



三科真澄さん(北京オリンピッククソフボール日本代表)

# 川越まつり 2015



10月17日・18日に行われた川越まつり。2日間で92万9千人の方が訪れ、絢爛豪華な山車がまちを行く姿に酔いしれました。

県立川越高校卒業

## 梶田隆章さん

(東京大学宇宙線研究所所長)

### ノーベル物理学賞受賞 おめでとうございます

#### 市長のコメント

川越にゆかりのある梶田隆章教授のノーベル物理学賞受賞は、郷土の誇りとして、35万市民に希望と活力を与えてくれる快挙であります。

この受賞を市民と共に喜び、梶田教授には市民を代表して、心からお喜び申し上げます。これをきっかけに本市においても、物理に興味を抱く子どもたちが増え、その中から第二の梶田教授が誕生することを期待しています。

これからも、日本そして世界の発展のために、ますますご活躍されるようご祈念申し上げます。

川越市長 川合善明

## 東洋大学 全日本大学駅伝 初優勝おめでとう！

市内鯨井の川越キャンパスで日々練習に励む東洋大学陸上競技部。11月1日に開催された第47回全日本大学駅伝対校選手権大会で、3区までの連続区間賞と7区での区間賞を奪い、見事初優勝を飾りました。

## 環境にやさしい行動を目指して8 エコドライブを実践してみませんか

環境政策課 ☎224-5866

エコドライブという言葉を知ったことはありませんか。エコドライブは、地球にやさしいだけでなく、お財布にもやさしい運転方法のことです。

運転の方法を少し変えるだけで、ガソリンの消費量と、地球温暖化の一因である二酸化炭素の排出量を減らせます。市内で排出される二酸化炭素の内、約30%が自動車使用等によるものです。

エコドライブの前に、不要なものがないか、自動車の中を整理しましょう。100kgの荷物が載っていると約3%燃費が悪くなるといわれています。整理すれば、車内も広く使えて一石二鳥です。準備ができれば、エコドライブで出発しましょう。発進時、アクセルに足を載せるようにゆっくり踏み込みます。加速は、5秒間で時速20km程度を目標にします。ゆっくり走り出すため、安全運転にもつながります。加速してきたら、目標の速度になる手前でアクセルを少し戻し、加速しすぎないようにします。



走行中は車間距離に余裕を持たせ、ブレーキではなくアクセルの踏み方で速度を調整します。速度の目安は、一般道なら時速40〜60km、高速道路なら時速80kmが一番効率が良いといわれています。減速するときや止まるときは、早めにアクセルから足を離し、エンジンブレーキで速度を落としてからブレーキを踏みます。

市ホームページに、さらに詳しくエコドライブを紹介していますので、ぜひご確認ください。